

街角麻婆豆の譜集

II. 青椒肉絲

I. 解説	2
II. ためにならない楽器解説	5
III. 楽譜	
1. 人喰いタンゴ	6
2. 亡き王女のための円舞曲	10
3. 夏色の結晶	18
4. 萃香ちゃんのための即興曲	28
5. 緋想天	31
6. L'ingénue glacée sur le Pont Neuf	36
7. 私が授業した方が面白くなるけどね	47
8. キルノちゃんおめでとう	54
9. 滝登り 2014	59
III. 直筆譜	69
V. 主な発行物一覧	71
VI. あとがき・奥付	72



街角麻婆豆

はじめに

挨拶

こんにちは。街角麻婆豆代表の中雑魚酒菜で
す。この譜集をお手にとっていただき誠にあり
がとうございます。街角麻婆豆としてはペーパー
も含めると8つ目の譜集になります。

前回発行した「街角麻婆豆の譜集Ⅰ」が大変に
好評だったため、第2弾を製作することになりま
した。第2弾では第1弾に収録できなかった楽
曲の中から、特に難易度の高いものを選んでいま
した。

アドリブで演奏したために原譜から相当違う物
になっている楽曲は、原譜ではなく極力音源から
耳コピした楽譜を掲載しました。また、楽譜校
正中に見つけたミスや不具合は適宜修正してあり
ます。

第一弾を出すまでポケットスコアが、更に街角
麻婆豆の楽譜がどのくらいの人に求められている
かは全くの未知数だったのですが、一定の需要が
あることが分かったため、これからも定期的に発
行していこうと思います。

それぞれの楽曲の解説につきましては、楽曲の
制作経緯や出典は楽曲解説の項に、演奏時の注意
事項は各楽曲のタイトル下に書きました。

それではお楽しみ下さい。

楽曲解説

1. 人喰いタンゴ

原曲：ほおずきみたいに紅い魂
妖魔夜行
編曲：中雑魚酒菜

2009年10月の第5回東方紅樓夢発行「^⑨リコー
ダーバカルテット」が初出。その後何度か編成
を変えて色々なアルバムに収録されているが、今
回収録したのは2013年10月の第9回東方紅樓夢
発行「Mr Sound Postman」に収録の弦楽四重奏版。
弦楽版では中間部分が長調になって登場。

増2度や半音進行が頻発する曲。タンゴなので
割とジャンジャン弾いてやってネ。

冒頭の2小節はオリジナル。アルトリコーダー
の高音域で吹けるフレーズ（原調：a-moll）とい
うことでこういう音型になっている。[Ⓐ]から妖魔
夜行の主題。初めはしつとりと。[Ⓑ]の半音下降は
原曲の半音下降のつもりで。[Ⓒ]からほおずきのサ
ビ。[Ⓓ]からは[Ⓑ]の変奏。ヴィオラはポルタメン
ト気味に弾くとよい。チェロのソロの所のヴァ
イオリンは掛け合いになっているので、対向配置
の方が面白い。

楽譜の浄書中にボウイングの指示記号がよく分
からなくなって皆で楽典とか辞書を引きまくった
あげく、チェロ奏者の菊一君の「よくわからない」
の一言で結局何も書かなかったところが何か
所か。ジユテとかサルタートとか解釈に揺れが
ありすぎるよ！

この曲は割とノリだけで作ったから特に解説す
ることないなあ……

ルーミアはキャラデザインも設定も音楽も汎用
性が高く気に入ってます。同人誌なんかだと
ギャグからシリアスまで何でもこなす優秀な子で
すね！！

2. 亡き王女のための円舞曲

原曲：亡き王女の為のセプテット

編曲：かつん

2013年5月の博麗神社例大祭10発行「ミルクティーの調べ」が初出。レミアのワルツ。アルト・テナー・バスが2群とグレートバスが1本の対向配置のセプテットになっている。かつんさんから楽譜が届いたとき、サブタイトルに「意地でも七重奏」とか書いてあって笑った。原譜では強弱は書かれていなかったが、今回の楽譜はレコーディングの前に僕がメモ書き程度に追加した強弱記号をそのまま採用した。グレートバスはトゥッティの所ではバスの補強として使われているので、あまりレスポンスの良くない楽器でも無理なく演奏出来る。全体的にスラーが長いので適宜スラーを切ると演奏が楽。27小節目のアルトのBは原曲だとH。実はこのアレンジは原曲のサビが使われていない。ロマン派的な演奏がよく似合うはず。

3. 夏色の結晶

原曲：クリスタライズシルバー

編曲：中雑魚酒菜

2013年8月のコミックマーケット84発行「夏色の結晶」が初出。この曲の初合わせの時に食べたラーメンどんぶりを洗っているときに落とし割って左親指に突き刺さって2針縫ったのもいい思い出。研修医の先生が先輩から縫い方を教わりながら縫ってくれたのもいい思い出。病院から帰ってきてすぐにブズーキ弾いたのもいい思い出。ブズーキはこの曲だと5度調弦だが、G-D-A-Dでも問題無く弾けるはず。Bメロは原曲のイントロから、AメロはそのままAメロから、サビはBメロから取材。ギター・ベース・ドラムの代わりにククレレ・ブズーキ・チェロ・カホンなのでレコーディングが大変だったのもいい思い出。

サビ前の"Woo"の所に某テレビの画像を貼った楽譜を渡したら皆に怒られたのもいい思い出。

4. 萃香ちゃんのための即興曲

原曲：碎月

編曲：中雑魚酒菜

2013年5月の博麗神社例大祭10発行「ミルクティーの調べ」が初出。こういうタイトルの曲が即興ではないのは明白の理だとして、1回こんな変な曲を書いてみたかった。それだけ。

全員のユニゾンで駆け上がるとか、オルガンみたいにリコーダーを使うのは東京リコーダーオーケストラがよくやっている技法。

5. 緋想天

原曲：緋想天

編曲：中雑魚酒菜

初出は2012年8月のコミックマーケット82発行「すまない(須間名居天子)」が初出。予定してたCDが落ちた穴埋めで書いた曲。

普段あんまり特殊奏法とか使わない街角麻婆豆にしては珍しく特殊奏法でんこ盛りなアレンジ。天子だけに。この曲の使用楽器は街角麻婆豆だと普段使っている楽器ばかりだが、他の団体がやろうとすると大変に楽器がそろえにくいのではないかと思う。しかも代用が利きやすい楽譜が多い街角麻婆豆の中でこの曲は全く代用が利かないので皆頑張ってね！

強いていうなら、フルートは尺八で、大正琴はマンドリンで、バスリコーダーはポルタティブ、チェロはガンバ、チェンバロはピアノをブリベアすればいいじゃないのかな！(投げやり)

東方キャラの中でも群を抜いて彩度の高い服を着ている天子だけけど、この譜集の表紙でも1人だけ彩度高い。

6. L'ingénue glacée sur le Pont Neuf

原曲：おてんば恋娘
編曲：中雑魚酒菜

2012年冬コミ(C83)発行「舞踏会のトスコナウオシチ」収録。ミュゼット。戦前にフランスで流行したミュゼットワルツ。最初に主題を奏した後、最後までヘテロフォニー！！！！

案外アコーディオンソロとかギターとアコーディオンだけでもどうにかなるはず。Youtubeでミュゼットワルツを探すとそういう編成が圧倒的に多いので。

ベースパートは何で演奏しても問題無い。アップライトベースが理想だが、録音だと弦にティッシュを巻いたエレキベースを使用。

こういう曲は解説を書きづらくて紙面がダダ余りする傾向に……あそうだ！録音だと冒頭のピアノの裏で錦華鳥が鳴いてるね！

(浄書にフランス式連符を使おうと思ったものの、16分音符が3つ以上連続することがない曲なので断念)

7. 私が授業した方が面白くなるけどね

原曲：懐かしき東方の血 ～Old World
ブレインエイジア
阿礼の子供
編曲：中雑魚酒菜

元になったアレンジは、2011年11月の「室内楽作品総集編 No 001」の「Aq's tune」。この阿求のワルツを中間部分に持って行って、前後をけーね先生の退屈なリトルネッロではさんで完成。

㊦からはいつもの僕みたいな楽譜だけど、途中から妙に和声的になって誰が書いたとか言われまくった曲。㊦から笙のスコルダトゥーラで代用してもいいよ！

リコーダーと違って弦楽は音色を気にせずに自由に色々な調に行けてイイネ！

8. チルノちゃんおめでどう

原曲：不思議なお謎い棒 / ミストレイク
編曲：中雑魚酒菜

持ち替えが楽しい曲。㊦のグレートバスとチェロはヘテロフォニー。その後対位法で色々入ってきて、最後まで。街角麻婆豆にしてはめずらしくほぼ原曲通り。ミストレイクの原曲って若干風神録テイストが入ってるような……

9. 滝登り -2014-

原曲：フォールオブフォール ～秋めく滝
編曲：中雑魚酒菜

2009年10月の第5回東方紅樓夢発行「㊦リコーダーパカルテット」が初出。その後度々編成を変えて色々なアルバムに収録されているが、今回収録したのは2014年5月の博麗神社例大祭11発行「天狗レボリューション」に収録のバージョン。

ウクレレは適当なものを使ってネ。

まさか自分の曲の耳コピがこんなに大変だとは思わなかったよ！

ためにならない楽器解説

リコーダー：本来小学生が吹くべき楽器を大の大人が真面目に吹く事例が近年よく目撃される。音大にも専科があることもあるので、小学生は音大に飛び級出来るはず。グレートバスリコーダー：グレートバスリコーダーのことを音の低いバスリコーダーだと思っている人が多いが、実際よく使う音域はバスリコーダーと大差ない。立っても座っても吹きにくい楽器。ヴァイオリン：小さいヴァイオリン。テレビだと清楚なお姉さんが演奏しているイメージがあるが、僕が弾くとマスオさん意外の何物でも無い。ヴァイオリンは弾いても疲れにくい楽器なのでオーケストラだとブラックな（ダブルミーニング）楽譜が多い。ヴィオラ：街角麻婆豆においてはソロ専用楽器。チェロ：スーツと帽子で弾く楽器。チェロの正式名称「ヴィオロンチェロ」の直訳は「小さな大ヴァイオリン」。おまえは何を言っているんだ。街角麻婆豆においては、燃やしても良い。ヴォーカル：噪音と楽音、さらにはフォルマントや倍音の分布が自由に指定できる便利な楽器。ただ、メンテナンス費用が高い。フルート：リコーダーのこと。なぜか最近では（ここ 250 年くらい）横笛のこともフルートというようになってきた。街角麻婆豆では、金のフルートと銀のフルートを使い分けているが、そのうち銅のフルートも使うようになるのだろうか。ウクレレ：ソプラノとテナーの音域が同じ楽器。正装はアロハシャツだが、レコーディングの時は面倒なのでパジャマ。ブズーキ：スペルをローマ字読みするとボウゾウキ。ポロソウきんみたい。おおブレネリあなたのおうちはどこと聞くと、「ギリシャ」「アイルランド」。迷子である。カホン：スペイン語で箱。前から音が出ていない、食事中はテーブルになる、レコーディングの休憩中はイスになるなど、楽器としての素質があまりない。ナゴヤハープ：おみやあ

大正琴とかとれえことばっかいたりやすな。でもインドにもあるよ？ チェンバロ：小さい頃は「チェロンバ」だと思っていた。カラスの羽を大量に消費する悪魔の眷属。文ちゃんか難色を示そう。アコーディオン：初心者には楽器を担いだままイスに座ってはいけない。ヨーロッパ人は超絶技巧を披露するが、街角麻婆豆は日本人なので民謡レベル止まり。ピアノ：重くて場所を取る楽器。保守と調律に手間がかかり、レコーディングの時はマイクセッティングが難しく、演奏するのが難しいわりには特に効果が上げられない楽器。そのくせ楽器=ピアノみたいなイメージが定着している、出来れば使いたくない楽器。マンドリン：楽器辞典などで「洋なしを半分に切ったような」とよく形容されるが、そもそも日本人の頭の中に洋なしは入っていないので辞典の編纂者は西洋かふれ。しかも Wikipedia で洋なしを調べたらそんなに形が似ているわけじゃなかった。辞典の編纂者は洋なしじゃなくて能なし。ギター：せつなくて、やるせなくて始めて、モチなかったらやめる楽器。ファゴット：煙突おぼけ。おそらくファゴットの製作者はコココーラの瓶を見てベルのくびれを作ったに違いない。基音が全然鳴ってない名ばかり低音楽器。ベルシアンシンバル：僕が使っているのはアメリカに渡ったトルコ人製。先日チベット仏教で使われているティンシャを叩いたが、これもなかなか良い音がする。バルバル。フレームドラム：我が家は空気が乾燥しているので皮が張りすぎて辛いことが多い。濡れタオルとお友達。スプリングドラム：ドラムとは。ウドウ：トゥグオ。シェイカー：なんだかんだで 5 個くらい持ってる。カクテルを作るあれに米でも入れれば良いと思うよ。クラヴェス：鍵。トライアングル：一応ユークリッド空間が適応される。カウベル：金属製の木魚。= 金魚？ ガングルー & チャクチャ：金属と木。ベース：エミッタとコレクタとともにトランジスタを形成する。

人喰いタンゴ

ほおずきみたいに紅い魂 / 妖魔夜行

■ 難しい重音はバリバリ省いてネ！

作曲：ZUN（上海アリス幻楽団）

編曲：中靴魚酒菜（街角麻婆豆）

Tango

Violin I (Vio in): *ff* *sp cc* **A** *mp*

Violin II (Vio in): *ff* *mp*

Viola (Vio a): *ff* *mp*

Violoncello (Vio once o): *ff* *mp*

6

Violin I (Vio in): *sp cc* *p*

Violin II (Vio in): *sp cc* *p*

Viola (Vio a): *sp cc* *p*

Violoncello (Vio once o): *sp cc* *p*

B

Violin I (Vio in): *p zz* *mf* *arco* *mf* *p zz* *arco* *p zz* *arco* *p zz*

Violin II (Vio in): *sf* *mf* *arco* *mf* *p zz* *arco* *p zz* *arco* *p zz*

Viola (Vio a): *p zz* *mf* *arco* *mf* *p zz* *arco* *p zz* *arco* *p zz*

Violoncello (Vio once o): *mf* *mf* *p zz* *arco* *p zz* *arco* *p zz* *arco* *p zz*

16

arco p zz arco

arco p zz arco

20 **C**

f

f

f

25 **D**

p zz

so o arco su C

p

p zz

29

co egno

mf

co egno

mf

co egno

mf

p zz

p zz

p zz

p zz

E

arco
mf dolce
arco
mf dolce e marcato
arco
mf dolce e marcato

7

arco
mf dolce

F

41

cresc
cresc
cresc

G

46

f
f
f

52 H

Musical score for measures 52-56. The score is in 2/4 time and features four staves: two treble clefs and two bass clefs. The music is in a minor key. A dynamic marking of *ff* (fortissimo) is present in the second and third staves. A rehearsal mark 'H' is located at the top right of the first staff. The notation includes various rhythmic values, including eighth and sixteenth notes, and rests.

57

Musical score for measures 57-61. The score continues with the same four-staff format. The dynamics remain at *ff*. The notation includes various rhythmic values, including eighth and sixteenth notes, and rests.

62

Musical score for measures 62-65. The score continues with the same four-staff format. The dynamics remain at *ff*. The notation includes various rhythmic values, including eighth and sixteenth notes, and rests.

亡き王女のための円舞曲

亡き王女の為のセブテット

■ Gb. をはさんでI群とII群が左右に並ぶと面白い ■ Gb. はほとんど全ての場所でB.と重複してあるのでアタックが強く出せないリコーダーでも問題無い ■ トリルのターンは適当に入れる ■ 22-23: C-A のスラーはポルタメントで奏すると効果的 ■ □ から音が高いけど頑張って! ■ 162: B. I と Gb. のトリルは事前によく相談しておこう

作曲: ZUN (上海アリス幻楽団)

編曲: かつん (街角麻婆豆)

Tempo di Valse

A to
Tenor
Bass
A to
Tenor
Bass
Great Bass

A to
Tenor
Bass
A to
Tenor
Bass
Great Bass

17 **A**

p *mf* *mp* *f*

25

mp *f* *ib* *f* *ib* *f* *ib* *p* *p* *p* *mf* *f*

33 **B**

mp *f* *ib* *mf* *mf* *f*

41

Musical score for measures 41-48. The score is written for five staves. The first two staves are in treble clef, and the last three are in bass clef. The music features a variety of note values, including quarter, eighth, and sixteenth notes, with many notes beamed together. Dynamic markings include *mp* (mezzo-piano) and *mf* (mezzo-forte). The piece concludes with a fermata over the final notes.

49

C

Musical score for measures 49-56. The score is written for five staves. The first two staves are in treble clef, and the last three are in bass clef. A section marked 'C' begins at measure 49. The music continues with similar rhythmic patterns and dynamics, including *mp*, *mf*, and *f* (forte). The piece concludes with a fermata over the final notes.

57

Musical score for measures 57-64. The score is written for five staves. The first two staves are in treble clef, and the last three are in bass clef. The music features a variety of note values, including quarter, eighth, and sixteenth notes, with many notes beamed together. Dynamic markings include *mf*, *ff* (fortissimo), and *f*. The piece concludes with a fermata over the final notes.

65 **D**

Musical score for measures 65-72, section D. It consists of five staves. The top staff has a treble clef and a key signature of one sharp (F#). The bottom staff has a bass clef. Dynamics include *mf* and *f*. There are various musical notations such as slurs, ties, and accidentals.

73

Musical score for measures 73-81, section D. It consists of five staves. The top staff has a treble clef and a key signature of one sharp (F#). The bottom staff has a bass clef. Dynamics include *mf* and *f*. There is a first ending bracket at the end of the section.

82 **E TRIO**

Musical score for measures 82-90, section E TRIO. It consists of five staves. The top staff has a treble clef and a key signature of one sharp (F#). The bottom staff has a bass clef. Dynamics include *ff non ib*, *mp*, and *p*. The section is marked "TRIO".

94

p

p

p

mp

mp

mp

104

mf

mf

mf

mf

f

f

112

cresc

cresc

mf

f

mf

mf

f

mf

f